

技能実習生賃金実態調査結果報告

2006年度調査結果報告

財団法人 国際研修協力機構

JITCO

I. はじめに

1. 技能実習生の賃金実態調査の趣旨

JITCO では 2003 年より各種の割増賃金や諸手当等を含む技能実習生への正確な支払賃金の総額を把握することを目的に、技能実習生を受け入れている企業を対象に、技能実習生の賃金実態に関する調査を行い、その調査結果を広く公表してきた。

本年度については、本調査を技能実習生にかかる受入れ企業等に対する自主点検等の調査の中で賃金の実態についての調査を行ったことから、その集計資料を活用し、2006 年賃金実態調査として取り纏めたものである。

2. 調査内容

自主点検調査期間の直近月に企業が支払った「基本給が最も低い技能実習生に対する時間外・休日労働手当等の諸手当等を含む賃金額」を調査した。

なお、昨年度までの賃金額は、「技能実習生一人当たりの平均年間支払賃金額」であるので、今年と前年度の賃金額についての厳密な比較とはならない。

3. 調査対象企業

技能実習生を受け入れている全企業数は、14,497 社であった。

回答のあった企業は、10,599 社で、回答率は 73%であった。

4. 調査手法

技能実習生にかかる受入れ企業等に対する自主点検等の調査のデータのうち、賃金に関する調査項目の回答を集計した（参考-1）。

5. 調査結果の公表

JITCO 白書及び JITCO ホームページ、等を通して公表する。

II. 調査結果

1. 調査票の回収結果

自主点検の回収結果は、技能実習生を受け入れている企業数が 10,599 社であったが、賃金支払いの調査項目の有効な回答結果は 10,103 社であった。

技能実習生が従事する職種では技能実習移行対象 62 職種を 9 職種の分野に区分し調査したが、漁業関係のサンプル数が少ないことから「その他」に含めて集計した（参考-2）。

2. 2006 年技能実習生賃金実態

(1) 職種別就業企業数構成について

第 1 表は、職種別の企業数を集計したもので有効企業数は、10,103 社であった。

技能実習生の受け入れている分野別職種の上位 3 職種は、i) 繊維・衣服関係 (36.5%)
ii) 機械・金属関係 (19.1%) iii) 農業関係 (12.8%) となった（第 1 表）。

(2) 職種別の平均支払賃金額について

①支払金額

ア. 今回の自主点検の調査において、各受入れ企業の支払賃金額は、それぞれの事業所の中でも最も低い実習生への支払額としたことから全職種の支払賃金額平均は、142 千円で昨年調査の 164 千円と比べると 22 千円の減少となった（第 2 表）。

なお、前述のように前年度と賃金の定義が異なるため厳密な比較とはならない。

イ. 職種別の支払賃金額平均を見ると、機械・金属関係が 168 千円で最も高かった（第 2 表）。

職種別の支払賃金額平均の多い順は機械・金属関係の 168 千円、溶接関係の 166 千円、プラスチック関係 160 千円、建設関係 150 千円、その他（家具、印刷等）147 千円、食品関係 137 千円、農業関係 129 千円、繊維・衣服関係 125 千円となっており、昨年と大きな差はなかった（第 2 表）。

また、職種別の支払賃金額平均の傾向としては、ものづくり（第二次産業）の職種に高い傾向が見られ、第一次産業の職種に低い傾向が見られた。

②控除金額

控除金額については、税金、保険料等法定の控除額とその他として宿泊費等の経費の控除額の記入法をとったが、集計データは、控除額の総額の集計表示とした。

ア. 控除金額平均は、34 千円となっている。

イ. 職種別の控除金額平均は、プラスチック関係が 41 千円で最も多く、繊維・衣服関係の 30 千円が最も低い金額となっている（第 2 表）。

③手取金額

手取金額は①支払金額から②控除金額を差し引いたものである。

ア. 手取金額の全体の平均額（以下「手取金額平均」という）は 110 千円となっている（第 2 表）。

イ. 職種別の手取金額平均は、溶接関係の 130 千円で最も高かった（第 2 表）。

(3) 支払賃金額平均別の受入れ企業の構成について

①今回の調査では、技能実習生への支払賃金額平均別の就業者構成についてのデータが取れなかったため受入れ企業のデータに置き換えた。220 千円以上の層は 3.1%であった。120 千円以上 140 千円未満においては 29.1%であり、各層の中でこの層が約 3 分の 1 を占めている。一方 100 千円未満の層は 1.6%となった（第 3 表）。

②今回の自主点検により、最低賃金額並びに時間外割増金額を下回ることが判明した企業は、是正を行った。

③職種別支払賃金額平均別の受入れ企業の構成は、機械・金属関係の職種が 200 千円以上の割合として 18%と高くなっている（第 3 表）。

また、職種別関係を見ると、機械・金属関係、溶接関係の職種が支払賃金額平均別の 200 千円以上が多く、食品製造関係、繊維・衣服関係、農業関係の職種の 140 千円未満が多くなっており、支払賃金額等については、職種による差があることがうかがえる（第 3 表）。

3. 2006 年技能実習生賃金実態調査を終えて

2003 年度から「技能実習生賃金実態調査」を実施し、技能実習生に支払われる賃金実態に関する調査を行ってきた。本年度の調査は、「技能実習生の労働条件等に係る自主点検」を全受入れ企業を対象に実施し、その調査の内容の中に賃金に対する調査項目を設けていたことから、それを利用し、2006 年度の技能実習生賃金実態調査とした。

昨年度までの調査と定義に違いがあることから、厳密に比較できない項目もあったので、その内容を年次別の傾向として統計的に見ることはできないが、単年度調査としての一定の実態を示すものであると考える。今後も「技能実習生賃金実態調査」を継続的に実施し、実態把握を行って参りたい。

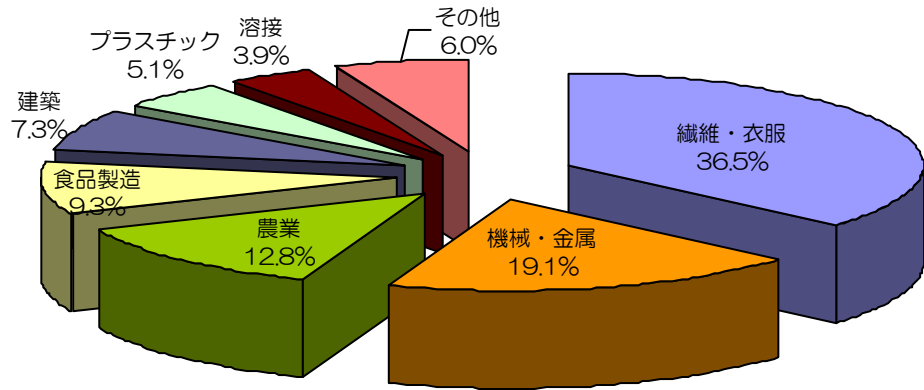
【 参考資料 】

- (1) 技能実習生の労働条件等に係る自主点検アンケート調査票 (参考-1)
- (2) 職種の分野コード一覧表 (参考-2)
- (3) 職種別受入れ企業数構成 (第 1 表)
- (4) 職種別支払賃金額平均の状況及び支払賃金額平均の状況 (第 2 表)
- (5) 職種別支払賃金額別受入れ企業数構成 (第 3 表)

なお、本報告に関する照会は、能力開発部 援助課 (TEL 03-6430-1181) までお願い致します。

第1表

職種別受入れ企業数構成



■繊維・衣服 ■機械・金属 ■農業 ■食品製造 ■建築 ■プラスチック ■溶接 ■その他

	プラスチック	機械・金属	建築	食品製造	繊維・衣服	農業	溶接	その他	合計
全体	515	1,930	734	941	3,686	1,291	398	608	10,103

第3表

職種別支払賃金額別受入れ企業数構成

	10万円未満	10~12未満	12~14未満	14~16未満	16~18未満	18~20未満	20~22未満	22万円以上
プラスチック	3 0.6%	47 9.3%	97 19.1%	129 25.4%	106 20.9%	54 10.6%	35 6.9%	37 7.3%
機械・金属	15 0.8%	130 6.8%	290 15.2%	413 21.6%	390 20.4%	331 17.3%	165 8.6%	177 9.3%
建築	10 1.4%	91 12.6%	217 30.0%	188 26.0%	93 12.8%	58 8.0%	43 5.9%	24 3.3%
食品製造	20 2.1%	209 22.4%	338 36.2%	213 22.8%	85 9.1%	39 4.2%	14 1.5%	15 1.6%
繊維・衣服	82 2.2%	1,536 42.0%	1,350 36.9%	490 13.4%	134 3.7%	46 1.3%	6 0.2%	12 0.3%
農業	19 1.5%	478 37.5%	433 34.0%	246 19.3%	71 5.6%	14 1.1%	10 0.8%	3 0.2%
溶接	3 0.8%	15 3.8%	58 14.6%	104 26.2%	98 24.7%	60 15.1%	33 8.3%	26 6.5%
その他	8 1.3%	124 20.5%	132 21.8%	140 23.1%	95 15.7%	63 10.4%	29 4.8%	14 2.3%
各職種合計	160 1.6%	2,630 26.3%	2,915 29.1%	1,923 19.2%	1,072 10.7%	665 6.6%	335 3.3%	308 3.1%

第2表

職種別支払賃金額平均の状況

	支払額平均	控除額平均	手取額平均
プラスチック関係	160,381	40,822	118,698
機械・金属関係	168,408	39,942	127,930
繊維・衣服関係	125,169	29,935	98,458
食品製造関係	137,111	31,377	106,602
建設関係	150,004	34,877	117,911
農業関係	129,358	30,051	103,070
溶接関係	165,992	35,726	129,623
その他	147,200	37,941	109,152

支払賃金額平均の状況

	支払額	控除額	手取額
全体	141,795	33,708	109,909

上記の数値は有効回答数による各種金額であるが、そのうち5%以下のエラーデータは未調整であるため、支払額、控除額、手取額の整合性は保たれていない。

(参考-1)

技能実習生の賃金実態に関するアンケートに使用した調査票

技能実習生の労働条件等に係わる自主点検表

(2次受入れ機関用)

(抜粋)

下記の「マークシート記入方法」に従い、同封するマークシートに質問事項に対する回答当をご記入の上、同封する封筒により、マークシートのみご返送ください。

(5)賃金の支払いについて回答してください。

④マークシートの裏面の表2に、基本給が最も低い技能実習生の直近の支払付きの内容をご記入ください。

マークシートの裏面の表2を記入するとともに(1円単位)、同表中(A)、(B)、(C)の金額について、下記の記入方法に併せてマークシートの表面のA欄にマークしてください(千円未満切り捨て)。

(A) ○○万○千円

(B) ○○万○千円

(C) ○○万○千円

【マーク上の注】万の位は右づめで記入し空欄には0(ゼロ)をマークしてください。

「9万5千円」の場合→「095」とマーク、「10万円」の場合→「100」とマーク

表2

1(5)④[基本給が最も低い技能実習生]

(_____ 年 _____ 月分)

定期的に支払われる金額(給与)	控除される金額	手取り額
基本給 (時間・日・月・その他)額 _____ 円	①税金 _____ 円	(C)
①月あたりの額 _____ 円	②雇用保険料 _____ 円	合計額(A-B)
②諸手当(手当名・額)	③健康保険料 _____ 円	
a. _____ 円	④厚生年金保険料 _____ 円	
b. _____ 円	⑤その他(控除項目・内訳)	_____ 円
③割増金額 時間数	a. _____ 円	
時間外(時間) _____ 円	b. _____ 円	
休日(時間) _____ 円	c. _____ 円	
深夜(時間) _____ 円	d. _____ 円	
	e. _____ 円	
(A)合計額(①+②+③) _____ 円	(B)合計額(①+②+③+④+⑤) _____ 円	

(参考—2)

【関係職種一覧表】

番号	関係職種	技能実習作業名
1	農業関係(2職種)	・耕種農業 ・畜産農業
2	漁業関係(1職種)	・漁船漁業
3	建設関係(21職種)	・さく井 ・建築板金 ・冷凍空気調和機器施工 ・建具製作 ・建築大工 ・型枠施工 ・鉄筋施工 ・とび ・石材施工 ・タイル張り ・かわらぶき ・左官 ・配管 ・熱絶縁施工 ・内装仕上げ施工 ・サッシ施工 ・防水施工 ・コンクリート圧送施工 ・ウェルポイント施工 ・表装 ・建設機械施工
4	食品製造関係(6職種)	・缶詰巻締 ・食鳥処理加工業 ・加熱性水産加工食品製造業 ・非加熱性水産加工食品製造業 ・水産練り製品製造 ・ハム・ソーセージ・ベーコン製造
5	繊維・衣服関係 (9職種)	・紡績運転 ・織布運転 ・染色 ・ニット製品製造 ・婦人子供服製造 ・紳士服製造 ・寝具製作 ・帆布製品製造 ・布はく縫製
6	機械・金属関係 (15職種)	・鋳造 ・鍛造 ・ダイカスト ・機械加工 ・金属プレス加工 ・鉄工 ・工場板金 ・めっき ・アルミニウム陽極酸化処理 ・仕上げ ・機械検査 ・機械保全 ・電子機器組立て ・電気機器組立て ・プリント配線板製造
7	溶接関係	・溶接
8	プラスチック関係	・プラスチック成形 ・強化プラスチック成形
9	その他(5職種)	・家具製造 ・印刷 ・製本 ・塗装 ・工業包装